

平成八～十年度 修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- ・本集成は、平成八～十年度に、京都国立博物館文化財保存修理所において文化財の修復時に確認された銘文等（納入品を含む）を収めたものである。ただし、国指定のものについては除いてある。
- ・配列は、各文化財の修理完成年度毎にまとめ、年度内ではそれぞれの銘文の年代順とした。
- ・銘文の解読は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則としたが、一部は／等により改行を示したものがあつた。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者と施工年度 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解読、釈文の作成は、保存修理指導室の赤尾栄慶と浅湫毅が担当し、企画室の羽田聡の協力を得た。また、大阪大学大学院の梶山博史と野瀬莊史がこれを補佐した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査および、各修理施工者から提供を受けた写真等の資料に基づく。なお、掲載の図版は各修理施工者から提供された写真を使用した。

目次

【平成八年度】

彫刻

- 1 金剛力士立像 京都府 歓楽寺
- 2 十王坐像 京都府 常念寺
- 3 俱生神半跏像 京都府 常念寺
- 4 釈迦如来立像 福岡県 大興善寺
- 5 大日如来坐像（胎藏界） 広島県 浄土寺
- 6 弥勒菩薩坐像 宮城県 弥勒寺
- 7 四天王立像の内 持国天・広目天 京都府 知恩院
- 8 中巖円月坐像 京都府 霊源院
- 9 阿弥陀如来坐像 奈良県 茗荷町自治会

【平成九年度】

彫刻

- 10 弥勒仏坐像 滋賀県 櫛野寺
- 11 薬師如来坐像 広島県 明光寺
- 12 五劫思惟弥陀坐像 愛知県 平田寺
- 13 四天王立像の内 広目天・多聞天 京都府 檀王法林寺

【平成十年度】

彫刻

- 14 釈迦如来坐像 大分県 萬弘寺
- 15 千手観音立像 大阪府 勝尾寺
- 16 毘沙門天立像（中巖円月坐像納入） 京都府 霊源院
- 17 阿弥陀如来立像及両脇侍像 高知県 蓮光寺
- 18 菩薩形坐像 滋賀県 崇徳寺
- 19 閻魔王坐像 富山県 芦峯寺閻魔堂

【平成八年度】

〔彫刻〕

1 金剛力士立像 京都府指定文化財

京都府 二躯
木造彩色 像高
阿形 一七九・八
吽形 一八二・三

〔阿形・右足柄内側墨書〕(図1)

歓楽寺二王採色事

嘉元四年^{丙午}年九月廿日

庄内 勸進

福信房 慶範

〔吽形・右足柄内側墨書〕(図2)

野々邑□□

法印「」

彩色之

惣村中

①嘉元四年(一三〇六)

②(財)美術院 平成五、八年度

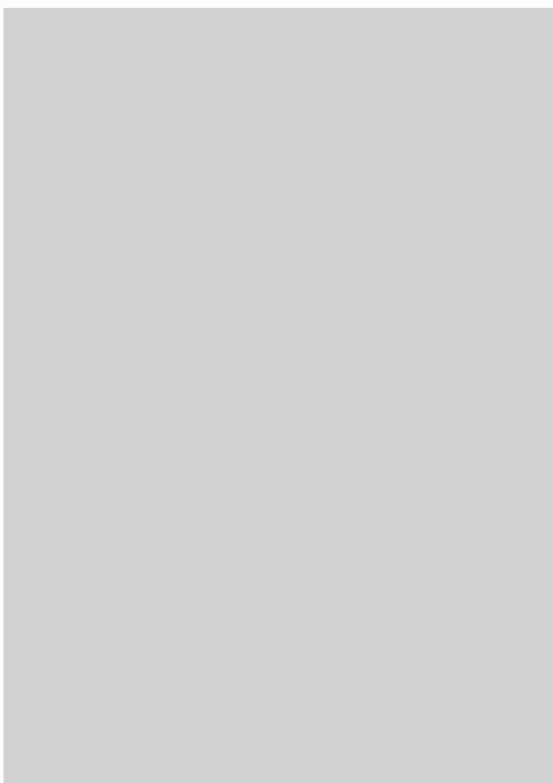
③『京都の文化財(第十六集)』(京都府教育委員会 平成十一年)。

④京都府北桑田郡美山町静原狐段

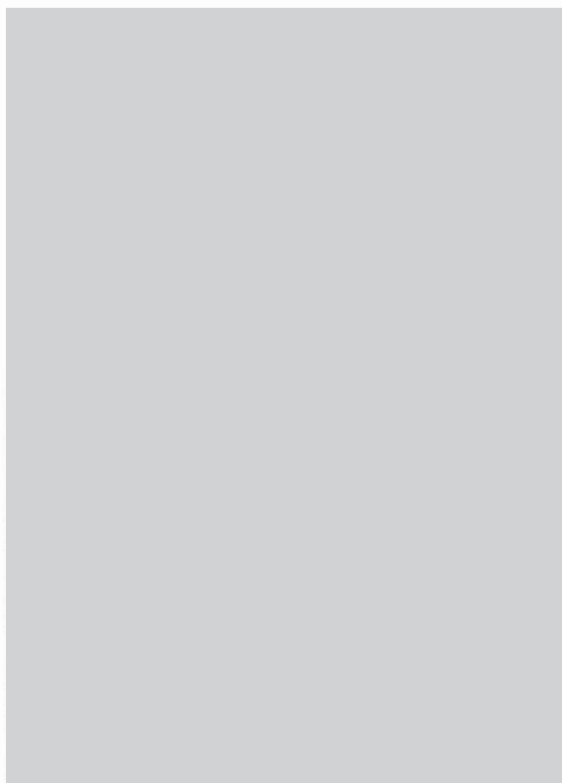
⑤修理銘。このほか納入願文四件も発見された。

2 十王坐像 京都府指定文化財

京都府 一〇躯
常念寺
木造 像高
その5 三六・四
その7 四〇・〇



(図1)



(図2)

〔十王その5 台座裏面墨書〕(図3)
一比十王辰年大水^ニあい被成
事外そんじ申所^ニさと村

さかや新五郎大山源右衛門兩人
して村中ほうか仕候てさいかう
いたし可申候こせあんらく之

仏師 ため

南都元真両所はせ川小□

享保四年 受取申候

乙亥十二月吉日出来仕候

〔十王その7 頭部割劔面墨書〕(図4)

作者南都之

両寺大仏所富士山

春賀未出家

文明六^甲年七月七日

〔十王その9 像底墨書〕(図5)

□□□□□□□□

阿弥陀如来

奉造立 作者南都両寺之

大仏所春賀云富士山南都住

未出家

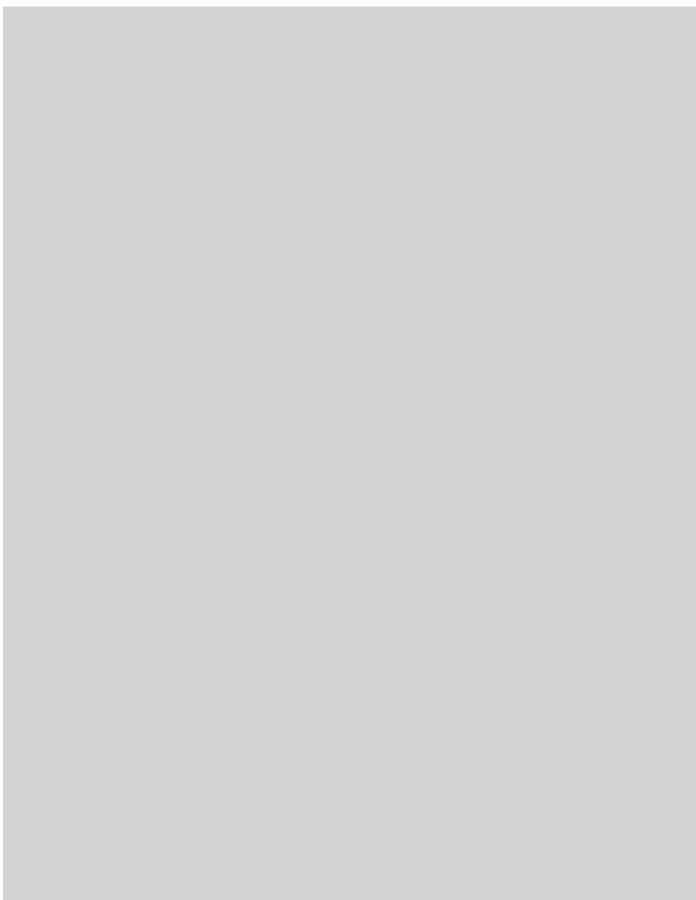
于時文明六年^甲年六月十□日

①文明六年(一四七四) 享保四年(二七一九)

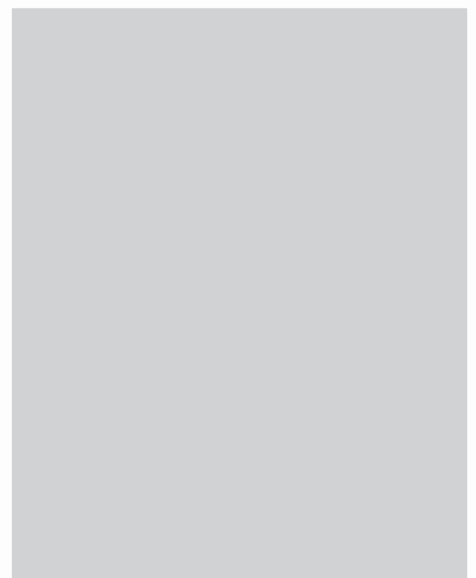
②(財) 美術院 平成八年度

④京都府相楽郡加茂町大字里小字小田

⑤造像銘および修理銘



(図4)



(図3)

3 俱生神半跏像 京都府指定文化財

二軀

木造 像高

京都府 常念寺

その1 三七・四
その2 三七・〇

〔像底墨書〕（図6）

俱生神作者ハ□寺仏所快慶

□□□名

□信流春賀云実名□慶

文明八年^丙十月五日作之

十五同作之

①文明八年（一四七六）

②（財）美術院 平成八年度

④京都府相楽郡加茂町大字里小字小田

⑤造像銘

4 釈迦如来立像 福岡県指定文化財

一軀

木造素地

福岡県 大興善寺

像高 一七三・〇

〔像内墨書〕（図7）

〔背面上段〕

本願雲州住源藏坊六十六部聖也

（梵字）奉再興本師釈迦牟尼仏 大旦那高橋三河守 仏師中嶋宮内大夫

于時元龜四年^西正月吉日

（背面前下段）

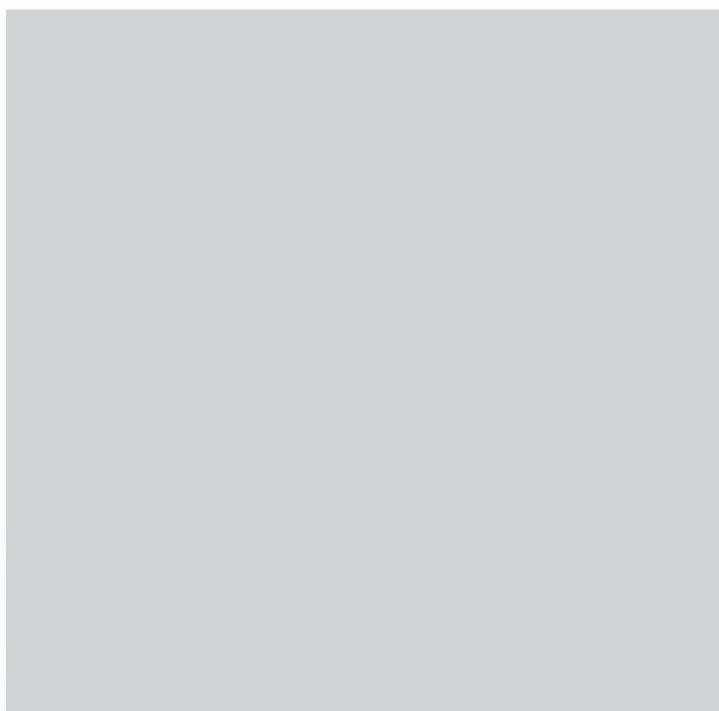
再興進之儀者小熊野治部丞同太郎左衛門兄弟為現世安穩後生善所子孫繁昌也

（前面上部）

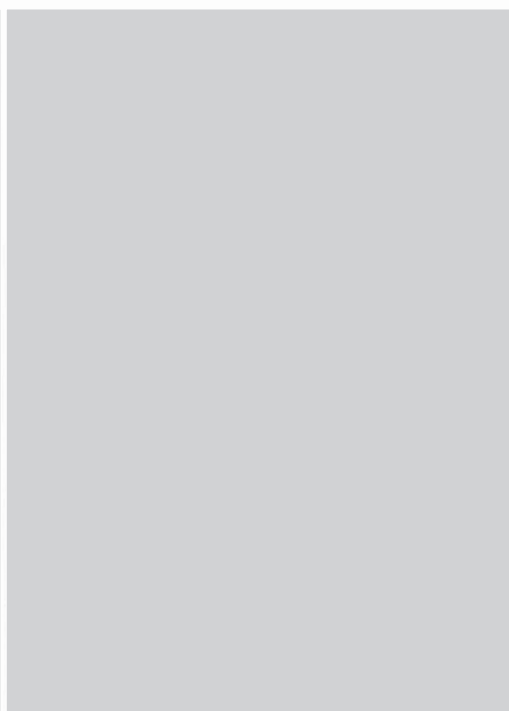
梵字九字（胎藏曼荼羅の胎藏九尊種子・中台八葉院）

（前面向下部）

梵字五字（釈迦・普賢・文殊・不動・毘沙門の種子）



（図6）



（図5）

〔背面左袖墨書銘〕（図8）

再修粧嚴豐夫人那須氏法名永貞院慈林紹善大師
于時寛文十一辛亥歲十月十九日現住儀天玄祝拜誌

〔像内頭部墨書および貼紙〕（図9）
（貼紙）

豊前国企救郡曾根村住

中根甚作

五十九才

明治三十七年七月十五日

之ヲ取造也

（頭部前面）

梵字三二字

（後頭部）

梵字一字（釈迦の種字）

①元龜四年（一五七三） 寛文十一年（一六七二）

明治三十七年（一九〇四）

②（財）美術院 平成七、八年度

④福岡県北九州市小倉南区蒲生

⑤修理銘

5 大日如来坐像（胎藏界）

広島県指定文化財

一 軀

広島県 浄土寺

木造 像高 九〇・六

〔像内膝前部墨書〕（図10）

右行□□

弟子

妙心末流金嶺比丘

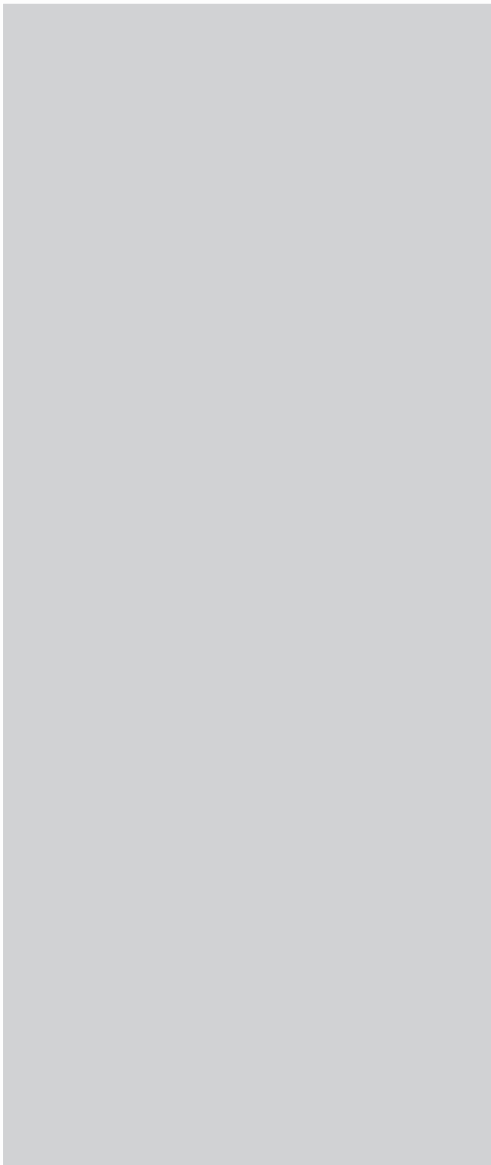
奉玄理菩提

中興

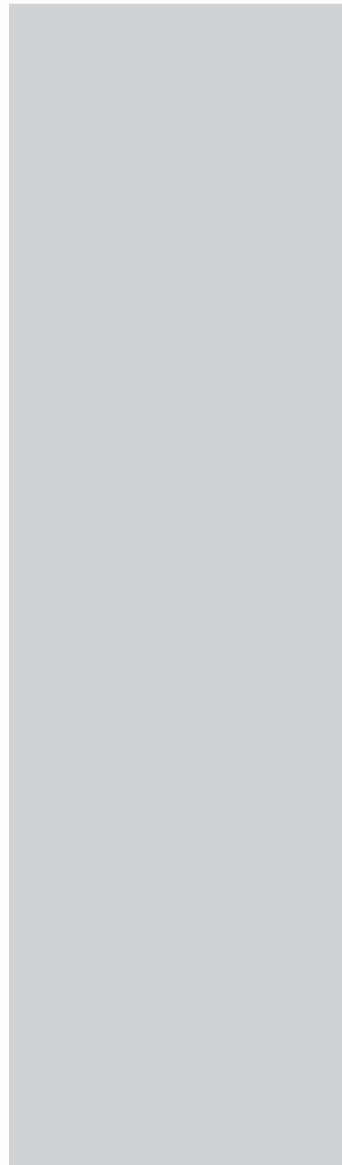
造立

寛文八年戊申十二月吉祥日

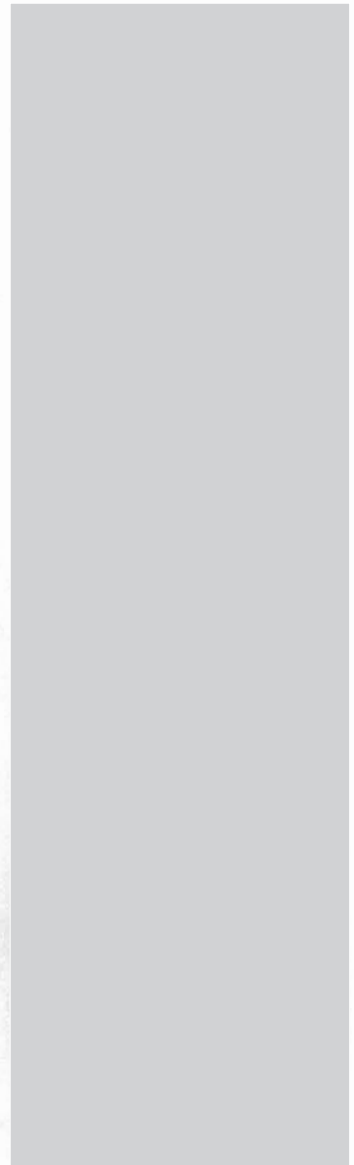
并猪子坂極楽寺



（図8）



（図7）



住□覺尊法師

①寛文八年（一六六八）

②（財）美術院 平成七、八年度

④広島県尾道市東大久保町

⑤修理銘

6 弥勒菩薩坐像 宮城県指定文化財

一 軀
宮城県 弥勒寺
木造漆箔 像高 八三・三

〔蓮肉天板裏墨書〕

（その1）

正徳四^{甲午}年八月十八日

来迎

台座後光 本尊弥勒様再^ニ興共^ニ寄進施主嶋村甚三郎

後光

気□郡□□村住人

（その2）

建当祐光代

寛政五^{癸丑}年十二月九日

台座後光再興

登米郡弥勒村願主孫□郎

①正徳四年（一七一四）、寛政五年（一七九三）

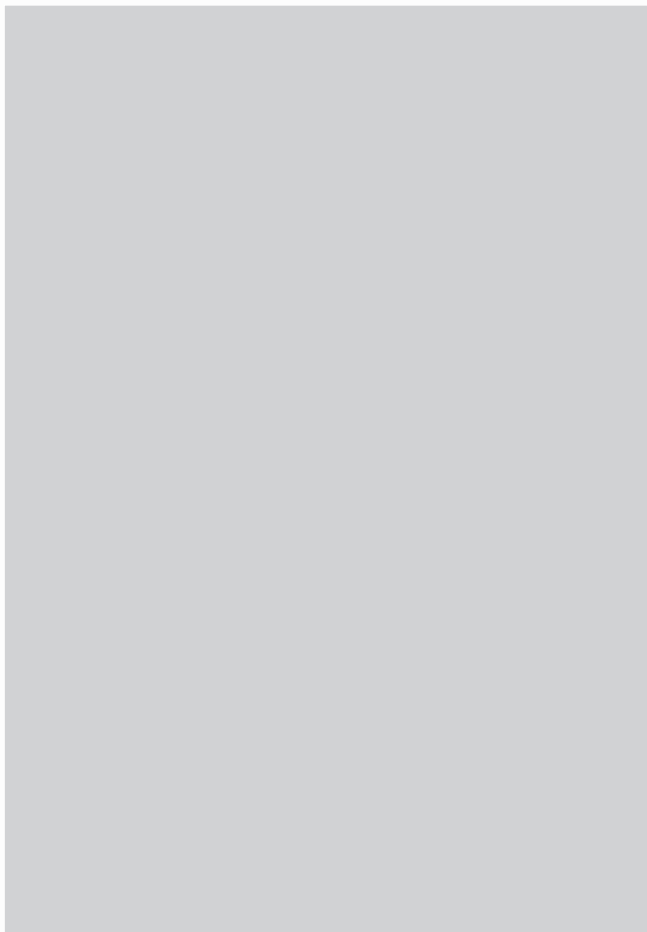
②（財）美術院 平成八年度

④宮城県登米郡中田町

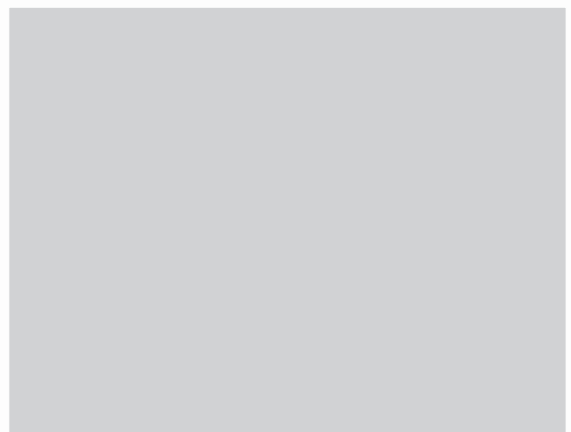
⑤修理銘

7 四天王立像 四軀の内 持国天、広目天

二 軀
京都府 知恩院



（図10）



（図9）

木造彩色 像高

持国天 一五二・二
広目天 一五八・二

〔持国天 玉眼押さえ紙〕(図11)

于時享保三^戌十月吉辰

知恩院古門前三吉町

大仏工左近作之

東山阿弥陀堂

四天之内

持国天王

〔広目天 頭部内刳墨書〕(図12・13)

享保三

□内名

左近作之

戌

廿五才

十月吉日

おんまか

出来

きやろ

にきや

そとか

□□

〔広目天 邪鬼左膊内刳墨書〕
知恩院

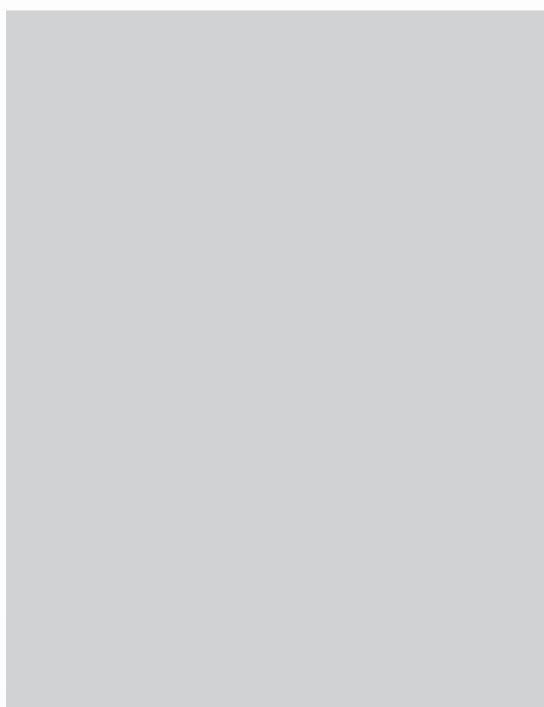
享保

大仏師

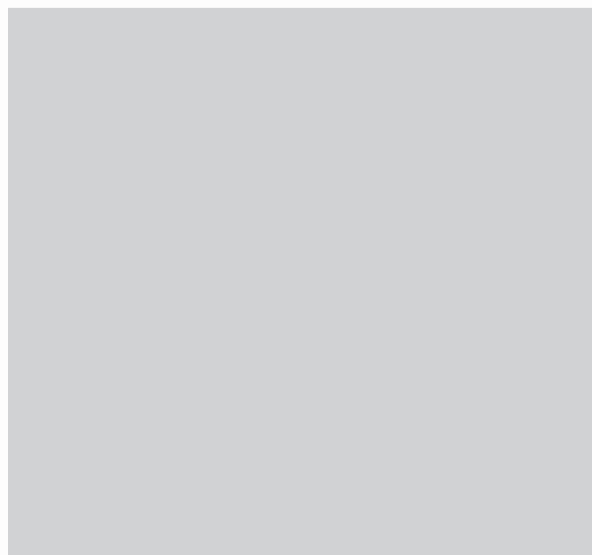
左近

作之

〔広目天 像内腰部墨書〕



(図12)



(図11)



(図13)

ふや丁

□□□□□□
□□□□□□

〔広目天 台座墨書〕
らい光院

□□□□
□□□□

①享保三年（一七一八）

②（財）美術院 平成八年度

④京都府京都市東山区新橋通り大和大路東入る林下町

⑤造像銘

8 中蔵円月坐像

京都府 霊源院 一軀
木造彩色 像高 八一・〇

〔像内納入銘札墨書〕（図14）

維時天保第八龍告_西三月吉祥日恭奉修補 開基仏種慧濟禪師大和尚
尊像龔翼 祖靈常現神異警破兒孫迷情 _桃 曾得伝教大師將來之仏舍利於
洛西大通寺中多聞院矣今茲藏毘沙門天王所擎於塔中以奉安置 開基仏種慧濟
禪師大和尚之胎内專祈妙喜世界尽未來際諸難不興庫司豐饒而法孫連綿扶起
開基仏種慧濟禪師大和尚之宗風以普度法界郡生

洛陽東山建仁寺塔頭妙喜菴補住比丘_{玄桃} 敬白

①天保八年（一八三七）

②（財）美術院 平成八年度

③『建仁寺』特別展覧会図録解説（京都国立博物館 平成十四年）

④京都府京都市東山区大和大路通り四条下ル建仁寺内

⑤修理銘。本像は平成十五年三月に京都府指定文化財となった。

（図14）

9 阿弥陀如来坐像 奈良市指定文化財

奈良県 茗荷町自治会
木造 像高 八六・一
一 軀

〔像内背面墨書〕(図15・16)

しん六

壺文 久□

同□

壺文

きしん 五文

阿弥陀如来□

□□□□ □□きしんたてまつる

□□□□ □□きんはく十まい

□□□□ □□とうせん

□□□□ 万代 ろうけん

二人のため

□□□□
□□□□

〔像内左大腿部墨書〕(図17)

□□ 長

□人宗□□ □

長□□べたん

□□妙徳禪尼

〔像内膝前部墨書〕(図18)

三千しやり たる壺道□

御しやり 一もんためこれおきしん仕也

三りうこれ□ たる壺

世之□□□ 五千助左衛門 妙□

一もんため二□□きしん仕也

□□□□ □□

□□

(図16)

(図15)

□□
□□新
□

①なし

②(財) 美術院 平成七、八年度

④奈良県奈良市茗荷町

⑤造像時の結縁銘か

【平成九年度】

〔彫刻〕

10 弥勒仏坐像 滋賀県指定文化財

木造 滋賀県 一 軀
像高 櫛野寺
八七・六

〔像底墨書〕(図20)

敬白

奉造立河合寺弥勒仏像一軀

右本願者為天下泰平伽安穩

興隆仏法社壇□□ノ快樂

勸進道俗男女奉遵□身

弥勒尊像即□結縁□□□

安置御身□□祈二世□地

而已仍記勤之狀如件

曆応三年^{庚辰}八月廿七日

大仏師法橋秀弁

僧長弁

大願主阿闍梨

宗舜



(図20)

并結縁衆等

く ゐ

①曆応三年（一三四〇）

②（財）美術院 平成九年度

④滋賀県甲賀郡甲賀町大字櫟野

⑤造像銘

11 薬師如来坐像 広島県指定文化財

木造漆箔 像高 二六三・〇
広島県 明光寺 一 軀

〔像内後頭部内刳墨書〕（図21）

享祿二年^{己未}九月八日作始

同享祿三年^{庚寅}三月晦日無為二

成就沙門永全元然春阿円阿

仏師堺南庄正尊正重内藤次郎

興

〔梵字〕奉再御薬師御本尊之為存天長地久御願円満

殊者国中安穩所願成就之故也

住持周栄同序寿丸

檀那井尻肥後守親重

同民部丞和重

〔台座下框墨書〕（図22）

米一斗宛之歳

初三斗己之歳十足妙祐

大工右衛門尉

〔梵字〕奉造立香座之事

本願永全 于時天文九年^{庚子}三月十五日

住持周栄 同弟子松千代

二十足薫林妙香十足妙栄

十足千代上

（図21）

（図22）

- ①享祿二年（一五二九） 天文九年（一五四〇）
- ②（財）美術院 平成六、九年度
- ④広島県広島市安佐北区
- ⑤造像銘

12 五劫思惟弥陀坐像 愛知県指定文化財

木造漆箔
像高 五九・〇
愛知県 平田寺 一 軀

〔納入文書〕（図23）

抑此本尊様者

奉勢州大湊北町鍛冶屋久五良造立者也

願誓宗本信士逆修菩提也

為二親

来譽妙本信女逆修菩提也

為自性夫婦逆修菩提也

為并現在之父母過去七代之恩所乃至六

親眷屬有無兩緣出離生死頓

証仏果菩提也

于時慶安三戊寅年三月吉日

開眼供養之導師

金胎寺第拾世勝蓮社超譽嵩山（花押）

西喜禪門 妙金禪尼 宝譽道三士 退譽浄不女

便譽相即 行意浄頓 法譽道心 妙円禪尼

清槃 理覺 春西童女 清心童子 円智童女

春光童女 幻夢 六親眷屬

浄頓発心者

敬白

〔像内頭部前面墨書〕（図24）
（上部）



（図23）

南無阿弥陀仏
南無阿弥陀仏

(下部)

□□□□

慶安四年

□□□□□□

仏師

右近作

〔玉眼当て紙 その1〕(図25)

台座九重

御金座

御厨子目録之事

金物絵様之事

台

御光台座九重

いしんい いしんに

ゐくわいゐくわい ゐくわい

もん □

もん □

もん ゐくわいゐくわ

〔玉眼当て紙 その2〕(図26)

とらノ

慶安四年

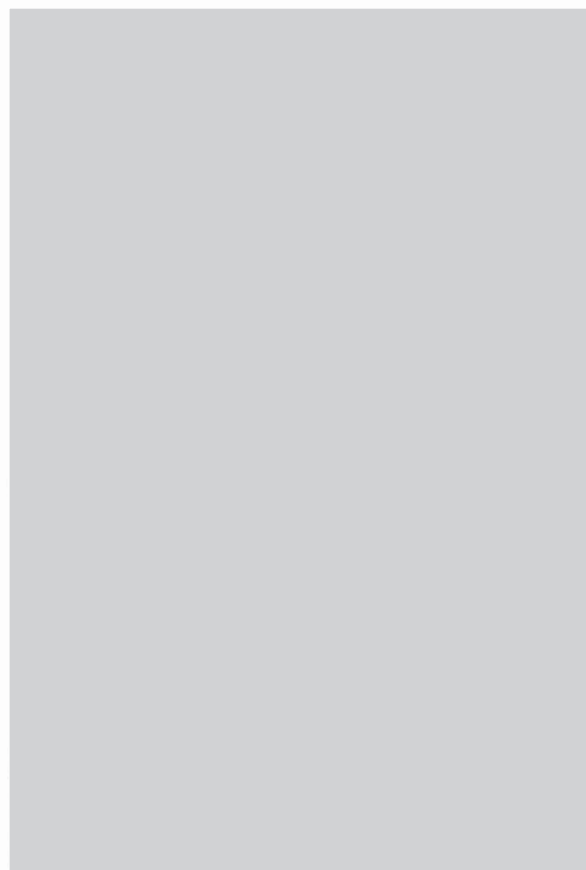
仏師右近作

七月廿二日

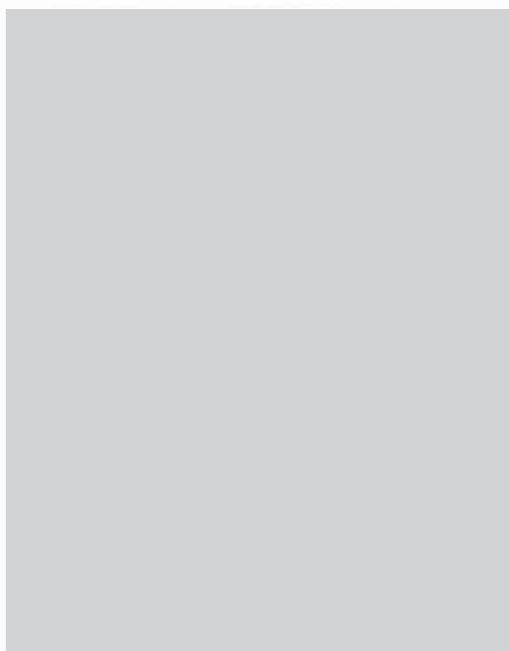
南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

〔玉眼当て紙 その3〕(図27)



(図24)



(図26)



(図25)

大□師

作事 □

成経 □ 念を入

仕可申候 木作り

木作り 成経

①慶安三年（一六五〇）、慶安四年（一六五二）

②（財）美術院 平成九年度

④愛知県西春日井郡西春日大字九之坪宮前六

⑤造像銘

13 四天王立像の内

広目天（その三） 多聞天（その四）

二軀

京都府

檀王法林寺

木造 像高

広目天

二二八・二

多聞天

二四三・二

〔多聞天像内墨書〕（図28）

泉州日根郡谷川邑

鳳樹山金剛院興善寺

四天王之内多聞天王

慈覺大師御作也今仮

以衆力令再興之者也

維時享保五_{子庚}歲二月日

天台宗

興善寺中興第三世主法印要海敬白

池之坊

両妻帯

大門坊

①享保五年（一七二〇）

②（財）美術院 平成九年度

（図28）

（図27）

④京都市京都市左京区川端三条上ル
⑤修理銘

【平成十年度】
〔彫刻〕

14 釈迦如来坐像 大分県指定文化財

木造 大分県 萬弘寺 一躯
像高 八一・〇

〔像内体部前面墨書〕(図29)

奉造立釈迦像一体

大仏師法眼尚和覚朝

住持月山叟

大壇那紀奎助忠茂

妻女藤原氏

同 藤原氏

孀子紀兵庫允忠挙

同紀忠時 同孫法磨

甲

文和三年 三月廿日

〔像内頭部背面墨書〕(図30)

京三條上ル寺町

寛文十二 後のさいかう大仏師左近

法橋也

同_{壬子}六月吉日

〔像内体部背面墨書〕(図31)

□□禍□

奉再興二大士共

寛文十二_{壬子}七月吉日敬而



(図30)



(図31)



(図29)

大工 智桂同妻女

〔像内膝前部墨書〕

奉彩色

如来尊像

施主惣檀那

現住通峰叟

仏師広島県

広島区下流

□町河石亀造

明治十九^戊年

曆三月吉祥日

①文和三年（一三五四）、寛文十二年（一六七二）、明治十九年（一八八六）

②（財）美術院 平成十年度

④大分県

⑤造像銘および修理銘

15 千手観音立像

木造素地 像高 二六六・〇
大阪府 勝尾寺 一 軀

〔像内後頭部墨書〕（図32）

権少僧都盛円現世安穩

後生善処□□□給へ

明応七^戊年六月五日造畢也

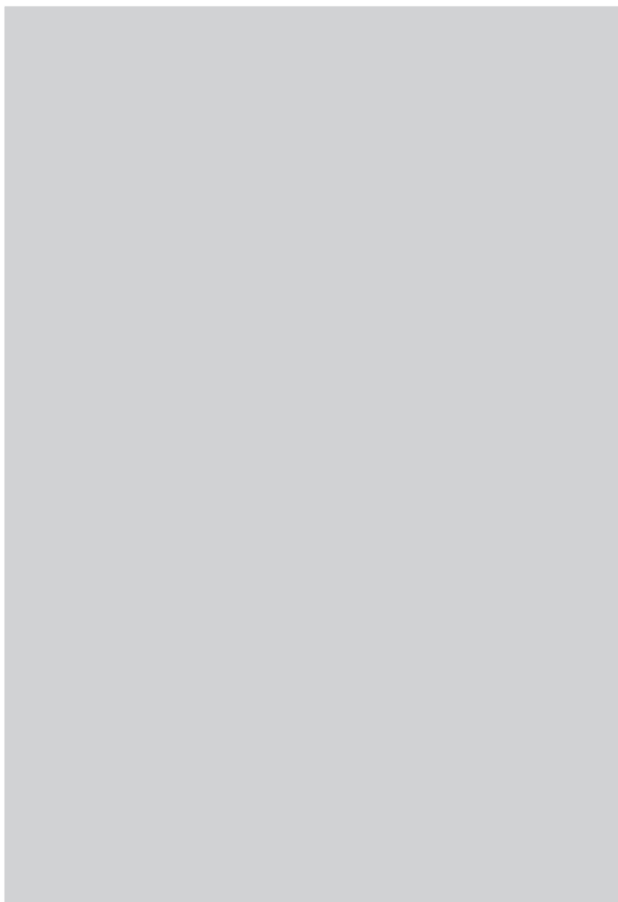
南無大慈大悲観自在菩薩

〔像内背面墨書〕

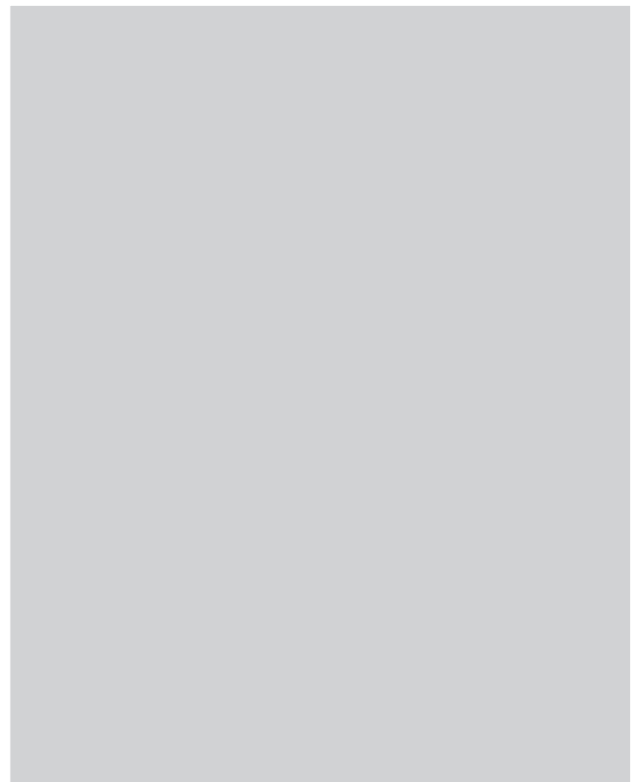
妙珍禪定門

善勝禪定門

刀始明応六年八月十八日 仏所堺之住人□□



（図33）



（図32）

□□禪定門
妙椿禪定尼

〔像内腰部墨書〕(図33)
妙真禪尼西眼童子 法界衆生

〔像内腰下部墨書〕(図34)

(梵字) 千手千眼觀自在菩薩 本願榮全大徳
攝津国勝尾寺
明応七稔月日

- ①明応六年(一四九七)・明応七年(一四九八)
- ②(財)美術院 平成八〇十年度
- ④大阪府箕面市大字粟生間谷
- ⑤造像銘

16 毘沙門天立像(中巖円月坐像内納入)

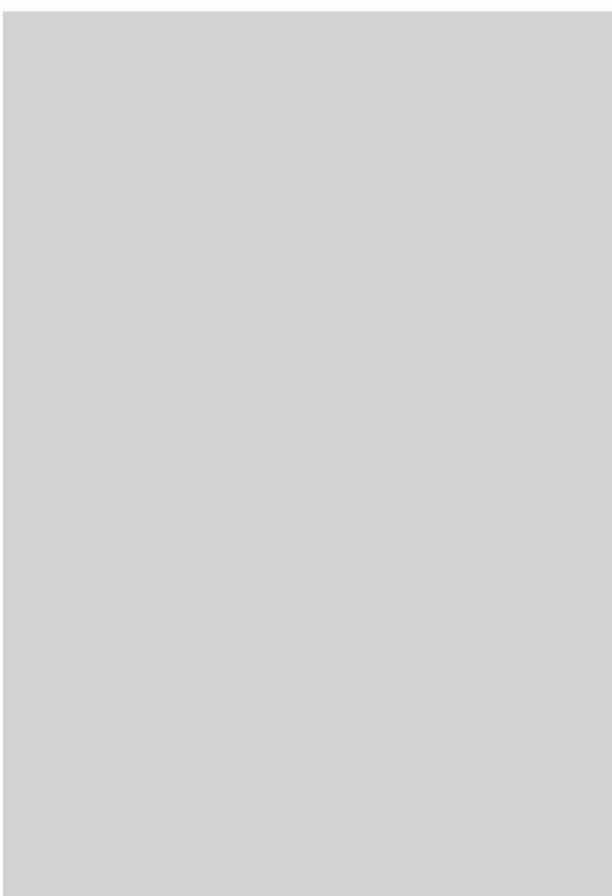
木造 京都府 一軀
像高 霊源院
三七・五

〔邪鬼像底墨書〕(図35)

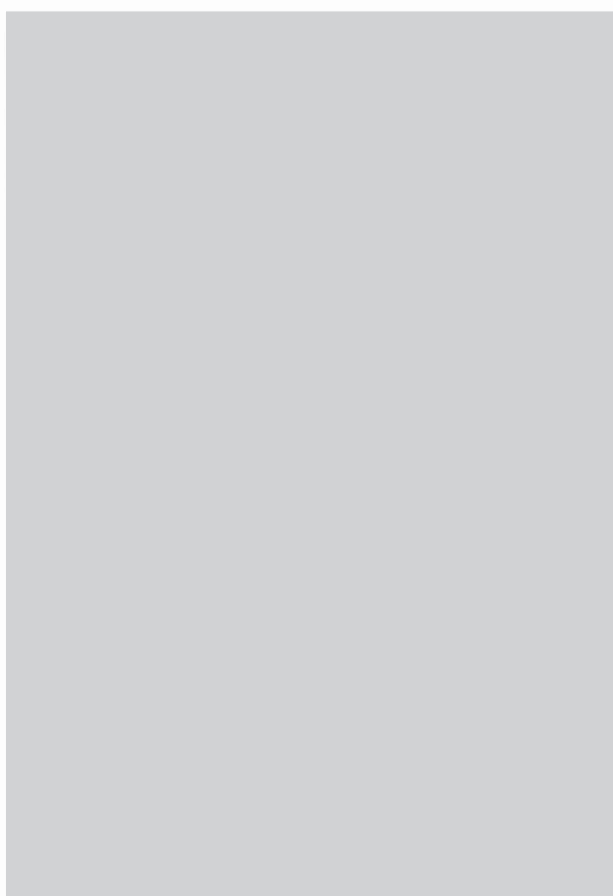
寛永六
十月□日

□
□□
□□□也

- ①寛永六年(一六二九)
- ②(財)美術院 平成九〇十年度
- ③『建仁寺』特別展覧会図録解説(京都国立博物館 平成十四年)
- ④京都府京都市東山区大和大路通り四条下ル建仁寺内
- ⑤修理銘。本像は平成十五年三月に京都府指定文化財となった。



(図35)



(図34)

17 阿弥陀如来立像及両脇侍像 高知県指定文化財 三軀

木造漆箔 像高 阿弥陀如来立像 一三二・四

觀音菩薩立像 八〇・三
勢至菩薩立像 七九・五

〔阿弥陀如来台座框中枠裏面墨書〕(図36)
天和二年^{壬戌}五月五日

大仏座阿弥陀如来

阿武山願成寺 住持義恕一中(花押)

①天和二年(一六八二)

②(財)美術院 平成十年度

④高知県土佐清水市元町

⑤修理銘

18 菩薩形坐像 彦根市指定文化財

木造 像高 七九・一
滋賀県 崇徳寺 一軀

〔像内膝前部墨書〕(図37)

江州愛知郡肥田城主蜂屋出羽守

奉敬靈像 中興松嶺和尚嚴粧

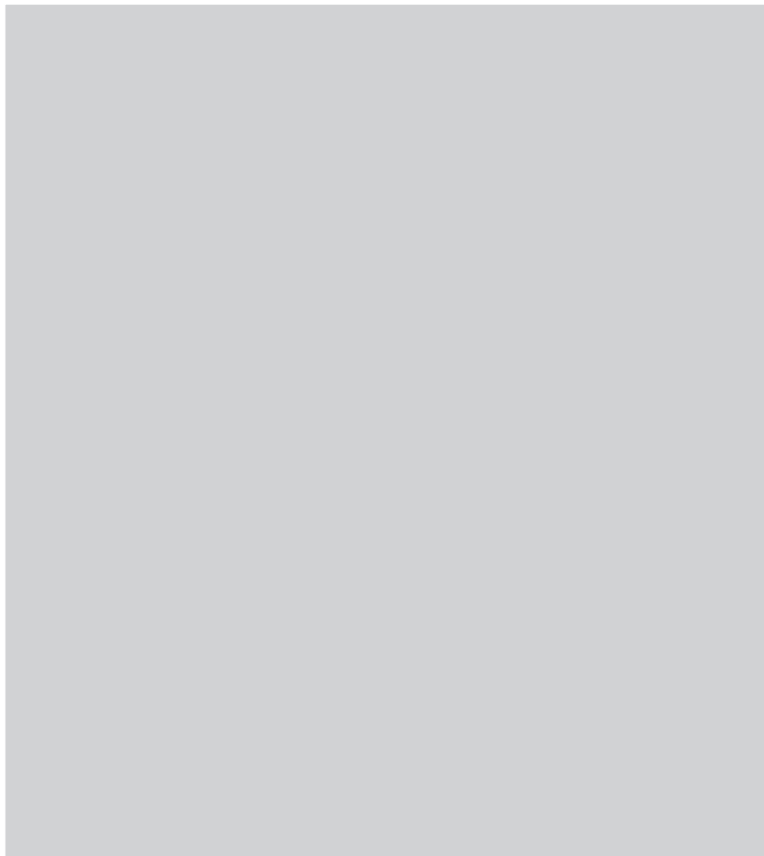
元禄五年^{壬申}七月七日為群生開帳一盛

事利百万

①元禄五年(一六九二)

②(財)美術院 平成十年度

④滋賀県彦根市肥田町



(図36)

⑤修理銘

19 閻魔王坐像 富山県指定文化財

富山県 芦峯寺閻魔堂 一軀
木造 像高 一六三・三

〔銘札墨書〕(図38)

寛政十年

弥勒院法印弘雄

焰魔大王再興

願主越前福井城下

八月吉良辰

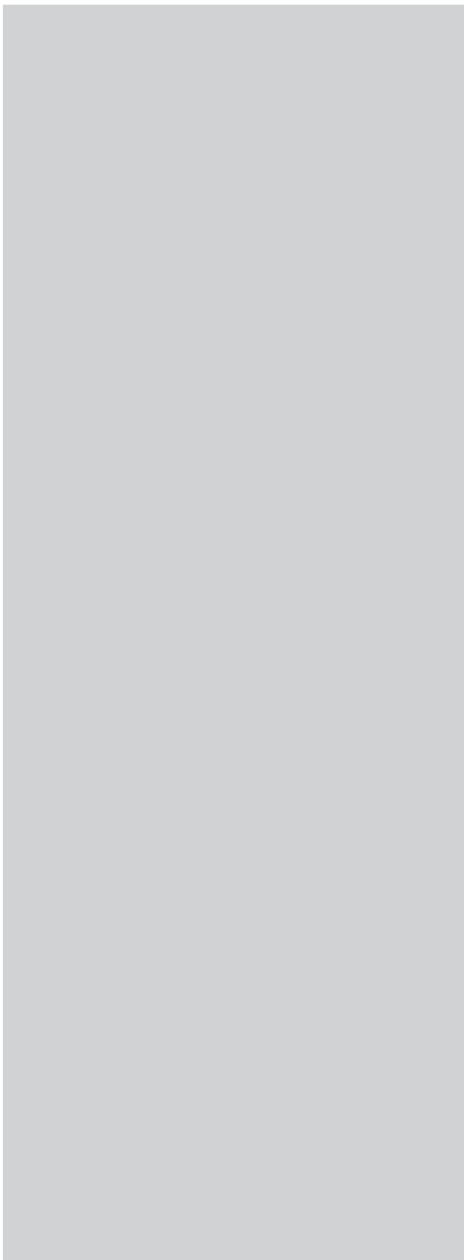
仏師岩井弥三治

①寛政十年(一七九八)

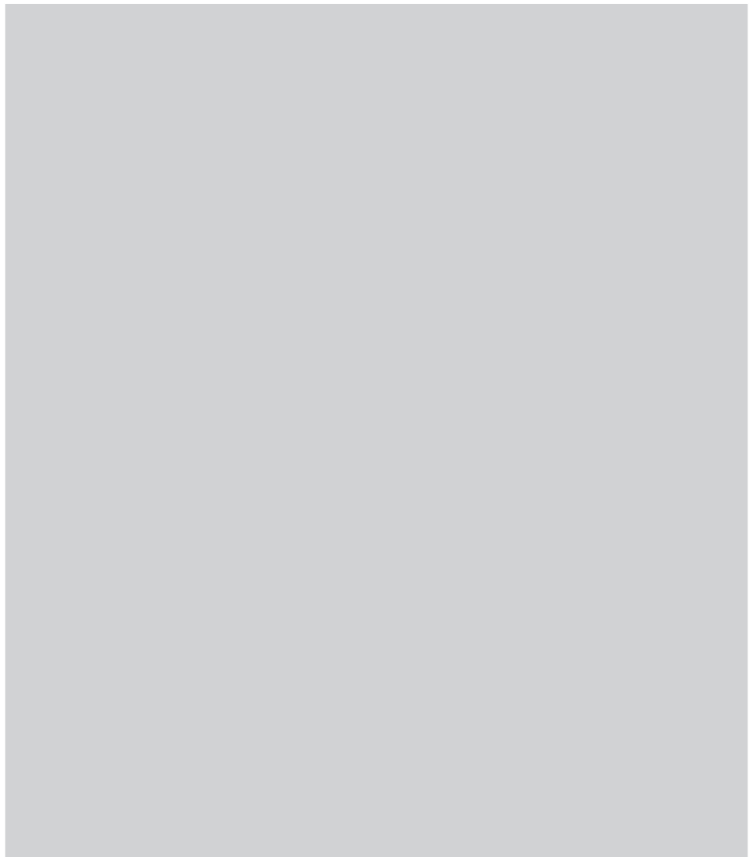
②(財)美術院 平成九〇年度

④富山県中新川郡立山町

⑤修理銘



(図38)



(図37)